

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所
原子炉施設（JRR-3 原子炉施設）
使用前検査成績書（その2-2）

〔原子炉格納施設〕

原子力規制委員会

使用前検査成績書

事業者及び事業者名	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所		
検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
検査場所	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 JR R-3 原子炉施設		
申請年月日及び申請番号	令和元年6月17日 令01原機(科研)003		
検査項目	検査年月日	結果	摘要
別紙-1のとおり	別紙-1のとおり	良	別紙-1 のとおり
原子力施設検査官	別添-1のとおり		
検査立会責任者 (役職名)	別添-1のとおり		
備考	設工認申請書に記載されている試験研究の用に供する原子炉等の設置、運転等に関する規則(昭和32年総理府令第83号)第3条の4第5号に基づき試験研究用等原子炉施設の性能検査をもって終了とする。		

令和3年2月3日

全ての設工認申請書に係る工事に対する使用前検査及び使用前事業者検査の終了を確認したので削除
松本 武彦

検査年月日	原子力施設検査官	検査立会責任者 (役職名)
令和2年3月4日	松本武彦 大和田博幸	[Redacted]
令和2年10月8日	原子力検査官 松本武彦 原子力検査官 大和田博幸 久東誠	[Redacted]
令和2年12月16日 17日 18日	原子力検査官 松本武彦 原子力検査官 大和田博幸	[Redacted]
年 月 日		
年 月 日		

検査項目	検査年月日	結果	摘要
材料検査	令和2年10月3日 12月4日	良	別紙-2, 3 のとおり
寸法検査	令和2年10月3日 12月4日	良	別紙-4, 5 のとおり
据付検査	令和2年12月16日	良	別紙-6, 7 のとおり
配置検査	令和2年12月16日 17日	良	別紙-8, 9 のとおり
外観検査	令和2年12月16日 17日	良	別紙-10, 11 のとおり
性能検査	令和2年12月16日 18日	良	別紙-12, 13 のとおり
設計変更の生じた 構築物等に対する 適合性確認結果の検査	令和2年12月17日	良	別紙-14, 15 のとおり
品質管理の方法等 に関する検査	令和2年12月3日 4日 16日 17日 18日	良	別紙-16, 17 のとおり

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 3 月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：材料検査

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
	確認事項	確認方法	結果
① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。		記録	良
② 必要な図面等が準備されていることを確認する。		記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。</p> <p>※検査は、貫通ボルト、接着系アンカーボルト、および施工アンカー（接着系カドセル型）も実施した。</p>			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 10 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：材料検査

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。</p> <p>※検査は、鋼材及び高力ボルトを実施した。</p>			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：材料検査

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
	確認事項	確認方法	結果
① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。		記録	良
② 必要な図面等が準備されていることを確認する。		記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。</p> <p>※検査は突針及び突針支持物も実施した。</p>			

材料検査記録

検査年月日 令和 2 年 3 月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
判定基準		結果	検査方法
設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表1～表3」参照）に記載された材料が使用されていること。		良	記録
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。</p> <p>※検査は、貫通ボルト、接着系アンカーボルト、<u>施工アンカー（接着系カプセル型）</u>も実施した。</p>			

材料検査記録

検査年月日 令和 2 年 10 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉格納施設のうち ・試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
判定基準		結果	検査方法
設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表1～表3」参照）に記載された材料が使用されていること。		良	記録
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。</p> <p>※検査は、鋼材及び高力ボルトも実施した。</p>			

材料検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
判定基準		結果	検査方法
設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表1～表3」参照）に記載された材料が使用されていること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。 ※検査は、突針及び突針支持物を実施した。			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 3 月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：寸法検査

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	/
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。</p> <p>※検査は貫通ボルトの外径(呼び径)を実施した。</p>			

検査前確認事項検査年月日 令和 2 年 10 月 8 日検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：寸法検査

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
	確認事項	確認方法	結果
①	申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
②	必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
③	使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。</p> <p>※検査は、鉄骨部材の断面寸法及び接着系アンカーボルトの外径(呼び径)を実施した。</p>			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：寸法検査

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
	確認事項	確認方法	結果
① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良	
② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良	
③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良	
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。</p> <p>※ 検査は、突針及び突針支持物の組み合わせ長さも実施した。</p>			

寸法検査記録

検査年月日 令和 2 年 3 月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
判定基準		結果	検査方法
主要材料の寸法が、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表2、図12及び図13」参照）に記載された寸法であること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。 ※ 検査は、貫通ボルトの外径(呼び径)も実施した。			

寸法検査記録

検査年月日 令和 2 年 10 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
判定基準		結果	検査方法
主要材料の寸法が、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表2、図12及び図13」参照）に記載された寸法であること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。 ※検査は、鉄骨部材の断面寸法及び接着系アーカーボルトの外径(母径)を実施した。			

寸法検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
判定基準		結果	検査方法
主要材料の寸法が、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表2、図12及び図13」参照）に記載された寸法であること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。 ※検査は、突針及び突針支持物の組み合わせ長さを実施した。			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：据付検査

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
	確認事項	確認方法	結果
①	申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
②	必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
③	使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。			

据付検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
判定基準		結果	検査方法
① 貫通ボルト及び接着系アンカーボルトが、設工認申請書（使用前検査要領書の添付書類-2「図13」参照）に示す本数施工され、据付状態に異常がないこと。		良	記録
② アンカーボルトの埋め込み長さが、設工認申請書（使用前検査要領書の添付書類-2「図13」参照）に示された値以上で施工されていること。		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：配置検査

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。			

配置検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日
 検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
判定基準		結果	検査方法
① 鋼材、貫通ボルト及び接着系アンカーボルトが、使用前検査要領書の添付書類-2「図13」に示す位置に配置されていること。		良	記録
② 避雷設備が、設工認申請書（使用前検査要領書の添付書類-2「図9～図11」参照）のとおり施工されていること。		良	立会
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：外観検査

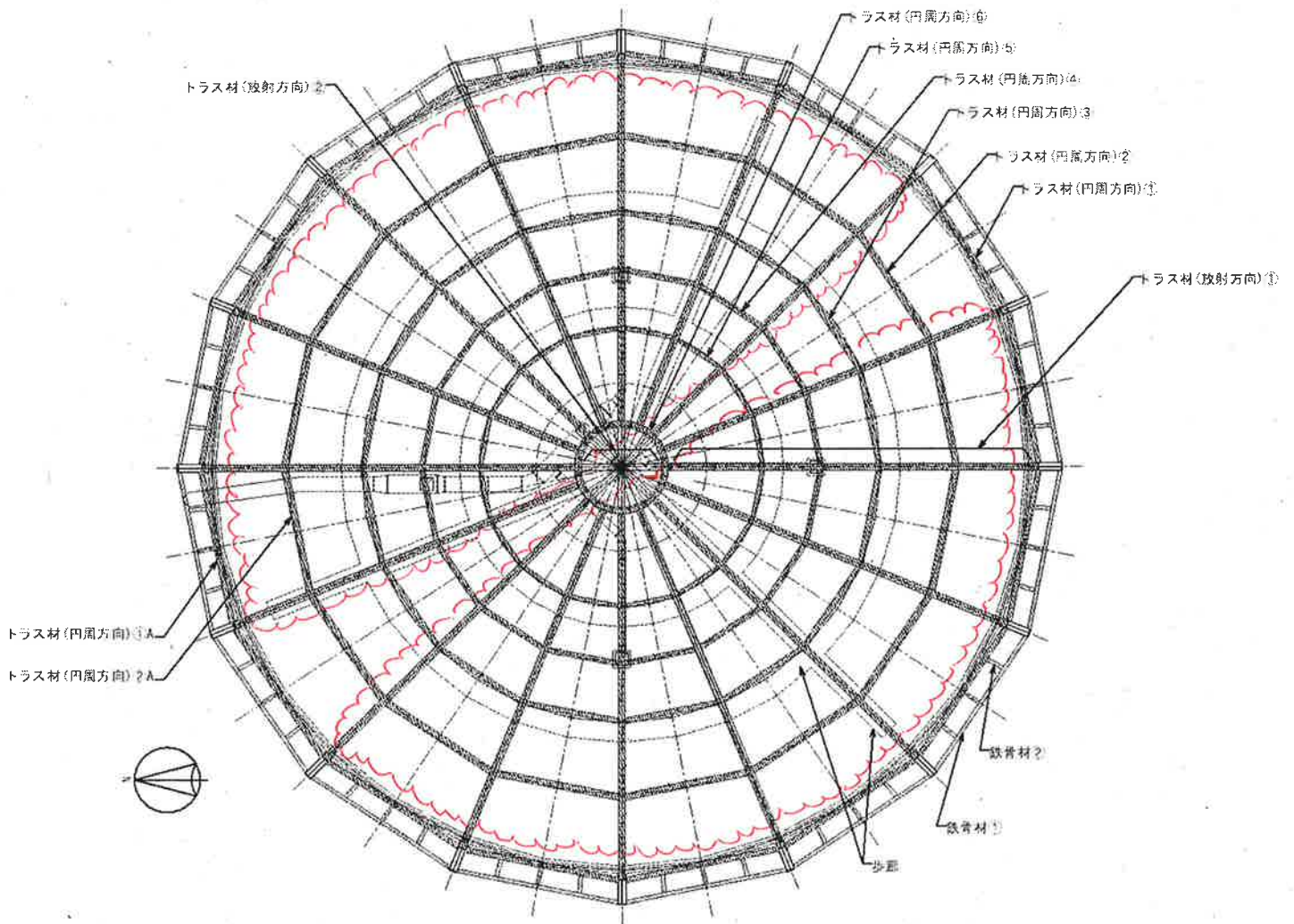
検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。			

外観検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 16 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
	判定基準	結果	検査方法
	① 鉄骨の表面に有害な傷等の異常がないこと。	良	立会/記録
	② 突針及び突針支持物の表面に有害な傷等の異常がないこと。	良	立会
	③ 避雷導線の表面に有害な傷等の異常がないこと、避雷導線の接続部にゆるみ等の異常がないこと。	良	立会
備考	<p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。</p> <p>立会確認箇所も添付図-1に示す。</p>		



立会確認箇所を示す。

図 原子炉建家屋根ドーム伏図

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 16/18 日
 検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：性能検査

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
備考	本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。		

性能検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 18 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根																
判定基準		結果	検査方法														
接地極の各接地抵抗値が、設工認申請書（使用前検査要領書の添付資料-2「表2」参照）に示す値であること。		良	立会														
<p>備考</p> <p>本検査で使用した検査用計器を別紙-18、本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。</p> <p>・立会検査記録</p> <table border="1" data-bbox="220 1093 1342 1509"> <thead> <tr> <th data-bbox="220 1093 587 1196">測定場所</th> <th data-bbox="587 1093 879 1196">単独接地抵抗値 (Ω)</th> <th data-bbox="879 1093 1145 1196">総合接地抵抗値 (Ω)</th> <th data-bbox="1145 1093 1342 1196">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="220 1196 587 1299">東側</td> <td data-bbox="587 1196 879 1299">4.9</td> <td data-bbox="879 1196 1145 1509" rowspan="3">1.8</td> <td data-bbox="1145 1196 1342 1299"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 1299 587 1402">南側</td> <td data-bbox="587 1299 879 1402">4.2</td> <td data-bbox="1145 1299 1342 1402"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 1402 587 1509">西側</td> <td data-bbox="587 1402 879 1509">8.2</td> <td data-bbox="1145 1402 1342 1509"></td> </tr> </tbody> </table>				測定場所	単独接地抵抗値 (Ω)	総合接地抵抗値 (Ω)	備考	東側	4.9	1.8		南側	4.2		西側	8.2	
測定場所	単独接地抵抗値 (Ω)	総合接地抵抗値 (Ω)	備考														
東側	4.9	1.8															
南側	4.2																
西側	8.2																

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
	確認事項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。			

設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 17 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
判定基準		結果	検査方法
設工認申請書に従って行われ、下記の性能の技術基準に適合していること。 <ul style="list-style-type: none"> ・試験研究用等原子炉施設の地盤（第6条） ・地震による損傷の防止（第7条第1項） ・外部からの衝撃による損傷の防止（第9条第1項） 		良	記録
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 3 月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：品質管理の方法等に関する検査

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根		
確認事項		確認方法	結果
法令、規格、設工認申請書、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていることを確認する。		記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。			

検査前確認事項

検査年月日 令和 2 年 12 月 18 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

16

17

18

検査項目：品質管理の方法等に関する検査

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根	確認事項	確認方法	結果
		法令、規格、設工認申請書、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-19に示す。</p>				

品質管理の方法等に関する検査記録

検査年月日 令和 2 年 3 月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根	
	判定基準	検査結果
	工事及び検査に係る保安活動が、設工認申請書に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。	継続
総合所見	当該工事及び検査に係る保安活動が、事業者の定める保安品質保証計画書に従って実施されていることを確認した。 工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。	
品質管理の方法等に関する所見	1 品質保証の実施に係る組織 ・工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び調達先との間の責任及び権限が明確にされ、体制の構築、情報伝達等が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 ・供給者の選定や管理が設工認申請書に従って行われていることを確認した。	
	2 保安活動の計画 ・工事及び検査に係る法令、仕様等の要求事項及び1の組織体制等が申請者関係部門及び供給者に明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や可否判定基準を含む。）が定められていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。 ・1の供給者（調達物品や役務を含む。）の管理方法についても設工認申請書に従って定められていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。	
	3 保安活動の実施 ・工事及び検査が2の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。	
	4 保安活動の評価 ・工事及び検査が2の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及	

び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。

5 保安活動の改善

- ・予防処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が実施されていることを確認した。工事中であるため、次回以降の検査においても、継続して確認する。

備 考

本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙－19に示す。

品質管理の方法等に関する検査記録

検査年月日 令和 2 年 12 月 18 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	原子炉格納施設のうち 試験研究用等原子炉施設の一般構造のうち 耐震構造のうち 原子炉建家屋根	
判定基準		検査結果
工事及び検査に係る保安活動が、設工認申請書に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。		良
総合所見	当該工事及び検査に係る保安活動が、事業者の定める保安品質保証計画書に従って実施されていることを確認した。	
品質管理の方法等に関する所見	<p>1 品質保証の実施に係る組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び調達先との間の責任及び権限が明確にされ、体制の構築、情報伝達等が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 ・供給者の選定や管理が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 	
	<p>2 保安活動の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事及び検査に係る法令、仕様等の要求事項及び1の組織体制等が申請者関係部門及び供給者に明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や合否判定基準を含む。）が定められていることを確認した。 ・1の供給者（調達物品や役務を含む。）の管理方法についても設工認申請書に従って定められていることを確認した。 	
	<p>3 保安活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事及び検査が2の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。 	
	<p>4 保安活動の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事及び検査が2の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。 	

	<p>5 保安活動の改善</p> <ul style="list-style-type: none">・予防処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が実施されていることを確認した。
備 考	<p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙－19に示す。</p>

使用計測器一覧表

検査年月日 令和 2 年 12 月 18 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	
性能検査	シルバーテープ	S04658	0~10000 mm	±1.2 mm	2020. 9. 16	
					2021. 9. 15	
性能検査	接地抵抗計	0233991	0~1200Ω	±3%	2020. 12. 9	
					2021. 12. 8	
	— 以下余白 —					

記 録 一 覧 表

検査年月日 令和 2 年 3 月 4 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備 考*
1	・原子力科学研究所品質保証計画書	QS-P10 H30.7.18	(品)
2	・原子力科学研究所品質目標管理要領	(科)QAM-540 H31.3.29	(品)
3	・原子力科学研究所調達管理要領	(科)QAM-740 R1.8.5	(品)
4	・原子炉施設等安全審査委員会規則	(科)QAM-550 H31.4.1	(品)
5	・研究炉加速器技術部教育・訓練管理要領	(科研)QAM-620 H31.3.15	(品)
6	・研究炉加速器技術部試験・検査の管理要領	(科研)QAM-820 H30.4.1	(品)
7	・研究炉加速器技術部文書及び記録の管理要領	(科研)QAM-420 R1.9.2	(品)
8	・研究炉加速器技術部部内安全審査会運営要領	(科研)QAM-550 R1.9.9	(品)
9	・研究炉加速器技術部業務の計画及び実施に関する要領	(科研)QAM-710 R1.12.4	(品)
10	・研究炉加速器技術部設計・開発管理要領	(科研)QAM-730 R1.9.2	(品)
11	・研究炉加速器技術部使用前検査対応要領	(科研)QAM-820-004 H30.4.1	(品)
12	・設計管理計画（原子炉建家屋根の耐震改修の耐震改修）		(品)
13	・設計要求事項の適切性の評価記録（原子炉建家屋根の耐震改修）		(品)
14	・設計要求と設計結果の対比の記録（原子炉建家屋根の耐震改修）		(品)
15	・設計の検証の記録（原子炉建家屋根の耐震改修）		(品)
16	・原子炉建家屋根の耐震改修事業者検査要領書	(科研3)QAM-820-011 R1.9.5	(材)(寸)
17	・原子炉建家屋根の耐震改修事業者検査記録		(材)(寸)
18	・力量評価票		(材)(寸)
19	・耐震改修に係る設計変更の生じた構築物に対する適合性確認 事業者検査要領書		(適)

20	<p>・耐震改修に係る設計変更の生じた構築物 に対する適合性確認 事業者検査記録</p>	<p>(科研3)QAM-820-017 R1.6.13</p>	<p>(適)</p>
----	--	-------------------------------------	------------

*備考欄の記載について

(材) : 材料検査、(寸) : 寸法検査、(据) : 据付検査、(配) : 配置検査、(外) : 外観検査、(性) : 性能検査、(適) : 設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査、(品) : 品質管理の方法等に関する検査

記録一覧表

検査年月日 令和 2 年 10 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
	原子炉格納施設（原子炉建家屋根）		
1	・原子炉建家屋根の耐震改修 事業者検査要領書	(科研3) QAM-820-011 R1.9.5	(材)(寸)
2	・原子炉建家屋根の耐震改修 事業者検査記録		(材)(寸)
3	・監視機器及び測定機器 管理台帳 【JRR-3 耐震改修工事】		(寸)
4	・JRR-3 管理課 保安活動に従事する者の力量管理		(材)(寸)

*備考欄の記載について

(材)：材料検査、(寸)：寸法検査、(据)：据付検査、(配)：配置検査、(外)：外観検査、(性)：性能検査、(適)：設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査、(品)：品質管理の方法等に関する検査

記録一覧表

検査年月日 令和 2 年 12 月 18 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

16
17
18

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考*
	原子炉格納施設（原子炉建家屋根の耐震改修）		
1	・原子力科学研究所原子炉施設及び核燃料物質使用施設等品質マネジメント計画書	QS-P10 R2. 12. 1	(品)
2	・原子力科学研究所品質目標管理要領	(科)QAM-540 R2. 4. 1	(品)
3	・原子力科学研究所調達管理要領	(科)QAM-740 R2. 4. 1	(品)
4	・原子炉施設等安全審査委員会規則	(科)QAM-550 R2. 4. 1	(品)
5	・研究炉加速器技術部教育・訓練管理要領	(科研)QAM-620 R2. 4. 1	(品)
6	・研究炉加速器技術部試験・検査の管理要領	(科研)QAM-820 R2. 9. 24	(品)
7	・研究炉加速器技術部文書及び記録の管理要領	(科研)QAM-420 R2. 7. 1	(品)
8	・研究炉加速器技術部部内安全審査会運営要領	(科研)QAM-710-016 R2. 4. 1	(品)
9	・研究炉加速器技術部業務の計画及び実施に関する要領	(科研)QAM-710 R2. 8. 17	(品)
10	・研究炉加速器技術部設計・開発管理要領 ・設計管理計画 ・設計要求事項の適切性の評価記録 ・設計要求と設計結果の対比の記録 ・設計の検証の記録 ・設計の変更の記録	(科研)QAM-730 R2. 4. 1	(品) (品) (品) (品) (品) (品)
11	・研究炉加速器技術部使用前検査対応要領	(科研)QAM-820-004 R2. 8. 17	(品)
12	・研究炉加速技術部監視機器及び測定機器の管理要領	(科研)QAM-760 R2. 4. 1	(寸)(据) (性)
13	・JRR-3 原子炉施設の変更に係る設計及び工事の方法の認可申請書（その4）		
14	・JRR-3 原子炉建家屋根の耐震改修事業者検査要領書	(科研3)QAM-820-011 R2. 3. 18	(材)(寸) (据)(配) (外)(性)
15	・JRR-3 原子炉建家屋根の耐震改修事業者検査記録		(材)(寸) (据)(配) (外)(性)

16	・JRR-3 管理課 保安活動に従事する者の力量管理		(材)(寸) (据)(配) (外)(性)
17	・監視機器及び測定機器 管理台帳		(寸)(据) (性)
18	・耐震改修に係る設計変更の生じた構築物に対する適合性確認 事業者検査要領書	(科研3)QAM-820-017 R2.3.18	(適)
19	・耐震改修に係る設計変更の生じた構築物に対する適合性確認 事業者検査記録		(適)

*備考欄の記載について

(材)：材料検査、(寸)：寸法検査、(据)：据付検査、(配)：配置検査、(外)：外観検査、(性)：性能検査、(適)：設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査、(品)：品質管理の方法等に関する検査